
Broken HEART

零桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Broken HEART

【ZPDF】

Z5280C

【作者名】

零桜

【あらすじ】

自傷癖のある少女。周りで死に関わることばかりが起る少年。突然彼らは出会い、いつの間にか一緒にいるようになる。特に理由はない。ただ、似ていた。それだけだった。

第一章・リストカット

太陽がコンクリートを焼く季節。青い、青すぎる空が、そこにあつた。

少女が一人、屋上にでて扉の隣に腰を下ろした。ちょうどいい具合に日陰になっていた。はめていた左手のリストバンドを外すと、無数の切傷のようなものが剥き出しになつていて。所々腫れている箇所もあり、なんとも痛々しい。それを見て、少女はうつすらと微笑んだ。まるで、安心するかのように…。

彼女は自傷癖がある。所謂リストカットいわゆるだ。始まつたのは4年前の話。

理由は…。本人ですら忘れていた小さなこと。でもその当時は、重大な事だった。

かつて、彼女は死にたいと思つていた。このまま消えてしまいたい…。と。

そうすれば、どれだけ楽か。そうすれば、どれだけ救われるか。どれだけ、心が解放されるか。彼女は考えるだけで、幸福になれた。同時に心が締め付けられた。

それでもやはり死に切れず、彼女は高校に入った。

初めは良かつた。友達も出来て、リストカットの存在なんか忘れていた。

そして現在、彼女の心は再び壊れそうになつていて。

他人にとつては小さなこと。でも彼女にとつては、重大な事だ。何かを傷つけないと心が保てないくらいに、心が軋んでいた。

彼女は、腕の傷は心の傷だと思っている。心の反映なのだと…。

傷をただボーッと見ていた彼女は突然、ポケットから剃刀を取り出して左手首に突きたてた。そして、思いつきり引く。繰り返すこと数回。

スウーツ

赤い液体が腕から流れ出る。

「ふう・・・」

彼女は微笑みながら、息を吐く。

消毒もせず、傷の上からリストバンドをはめ屋上を出ようとした。

「えつ！？」

立ち上がった彼女の目の前には、眩しいくらいの白い服を着た男の子が立っていた。

「貴女は、死にたいの？生きたいの？」

そして、表情のない言葉で尋ねた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5280c/>

Broken HEART

2010年10月28日04時44分発行